

科目名	助産学特論Ⅲ Topics in Midwifery I
授業形態	講義
標準履修年次	2年次
実施学期・曜時限等	春A 木曜1,2限
単位数	1単位
担当教員名	岡山 久代 Hisayo Okayama 非常勤講師:小泉 仁子 Hitomi Koizumi
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	岡山 久代 4B棟 509 okayama@md.tsukuba.ac.jp オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること
授業の到達目標 (学習成果)	質の高い助産ケアを提供するための実践能力について説明できる。 助産管理に関連する、政策、法律、経済、人材育成について説明できる。 組織変革に関連する理論について説明できる。
他の授業科目との関連	
履修条件	受講は、助産師国家試験の受験資格を得ようとする学生に限る。
授業概要	質の高い助産ケアを提供するための実践能力を育成する教育、助産ケアの質を保证するための組織における管理方法について学習する。また、母子保健サービスの領域における高度な専門職者に求められる管理能力について学習する。 助産師に求められるウィメンズヘルスケア能力、助産師の高度実践教育、助産業務ガイドライン、産科医療保障制度、助産師のキャリアプラン、助産実践能力の評価、助産所の開設と法的義務・規則、助産における人材育成と教育、大学病院でのトップマネジメント、バースセンターの立ち上げと管理、MFICUの管理、産科病棟および産科外来管理の実際について学習する。
キーワード	助産管理 Midwifery Management 助産業務 Midwifery Practice 助産実践能力評価 Clinical Ladder
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。必要な事前準備をして講義を受けることが望ましい。なお、グループディスカッションの時間を設ける。 1 (4/11 1限) (助産師のキャリアプラン・助産実践能力の評価) (岡山) 2 (4/11 2限) (産科医療保障制度と助産師の役割) (岡山) 3 (4/18 1限) (助産師に求められるマネジメント能力) (岡山) 4 (4/18 2限) (助産政策・乳房管理) (岡山) 5 (4/26 1限) (助産所の開設と法的義務・規則) (岡山) 6 (4/26 2限) (助産業務ガイドライン) (岡山) 7 (5/16 1限) (バースセンターの立ち上げと管理) (白根) 8 (5/16 2限) (助産師における人材育成と教育、大学病院でのトップマネジメント) (小泉) 9 (5/23 1限) (MFICUの管理) (白根) 10 (5/23 2限) (産科病棟および産科外来管理の実際) (白根)

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>講義(50%)と演習(50%)を併用する</p> <p>講義ごとに課題を提示することがあるので、事前に確認すること 専門誌や業界紙をよく読み、管理運営の方法や課題について情報を</p>
成績評価方法	<p><評価方法と配分役割> 授業の到達目標の達成状況60%, 授業内での発表内容・参加状況40%</p> <p><評価基準></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な問題を設定できる。 2. 設定した問題の背景を説明できる。 3. 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる。 4. その解決策について、先行研究がどのように述べているかを挙げる ことができる。 5. 既存の意見をふまえて、自らの考えを述べる ことができる。 <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである。</p> <p>A+ 上記1～5を自身で達成できる。 A 上記1～5をほぼ自身で達成できる。 B 上記1～5を教員の指導を受けながら達成できる。 C 上記1～5を教員の指導を受けながら概ね達成できる。</p>
教材・参考文献・配布資料等	<p>助産師基礎教育テスト 日本看護協会出版社 助産師業務要覧 日本看護協会出版会</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	